

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【公開番号】特開 2017-209870 (P2017-209870A)

【公開日】平成 29 年 11 月 30 日 (2017.11.30)

【年通号数】公開・登録公報 2017-046

【出願番号】特願 2016-104436 (P2016-104436)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

G 0 3 G 21/00 3 8 6

G 0 3 G 21/00 5 1 0

G 0 3 G 21/00 5 0 0

H 0 4 N 1/00 1 0 6 Z

G 0 6 F 3/0481

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像処理装置であって、

前記画像処理装置においてメンテナンス事象を検知し、

前記メンテナンス事象を解消するために必要な複数の操作手順を示す動画、および前記動画が表示されている領域とは異なる領域に本文を表示し、

前記本文は、前記メンテナンス事象を解消するまでの全作業工程のうちの一部作業を示し、少なくとも前記メンテナンス事象を解消した後にユーザが行うことになっている作業を示すことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記動画は、前記全作業工程を作業工程ごとに区切って表示される動画であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記メンテナンス事象は紙詰まりの事象であって、

前記本文は、紙詰まりを取り除いた後に前記画像処理装置のカバーを閉じることを示すことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記本文は、

前記画像処理装置のカバーが開いたことが検知されると表示されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記画像処理装置は、

前記メンテナンス事象が予め決められたメンテナンス事象である場合に前記メンテナンス事象を解消するための操作手順を示し、

前記メンテナンス事象が前記予め決められたメンテナンス事象でない場合に前記メンテナンス事象を解消するための操作手順を示さないことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記画像処理装置は、

前記画像処理装置において前記メンテナンス事象が発生しているか否かを判定する判定手段を有し、

前記本文は、

前記判定手段による判定を再開するために必要な手順を示すことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

画像処理装置の制御方法であって、

前記画像処理装置においてメンテナンス事象を検知し、

前記メンテナンス事象を解消するために必要な複数の操作手順を示す動画、および前記動画が表示されている領域とは異なる領域に本文を表示し、

前記本文は、前記メンテナンス事象を解消するまでの全作業工程のうちの一部作業を示し、少なくとも前記メンテナンス事象を解消した後にユーザが行うことになっている作業を示すことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するための、本発明は、画像処理装置であって、前記画像処理装置においてメンテナンス事象を検知し、前記メンテナンス事象を解消するために必要な複数の操作手順を示す動画、および前記動画が表示されている領域とは異なる領域に本文を表示し、前記本文は、前記メンテナンス事象を解消するまでの全作業工程のうちの一部作業を示し、少なくとも前記メンテナンス事象を解消した後にユーザが行うことになっている作業を示すことを特徴とする。